

2024年9月1日

日本代表プロジェクト推進委員会

## 日本代表活動について

本資料は公益社団法人日本ラクロス協会(JLA)において各カテゴリの日本代表が強化活動を行うにあたっての現時点での考え示したものになります

### 【基本原則】

JLAは会員によって構成されている組織(社団法人)であり、事業の大部分は会費によって運営されています。日本代表活動も同様です。各事業は、一人ひとりの会員によって支えられており、事業毎の優劣はありません。日本代表活動にはもちろん注力をするものの、全てを差し置いて特別扱いをする訳ではありません。

また、多くの選手が、一般社会の中で働きながらトップアスリートとしてのデュアルキャリアを形成しており、それが現在の日本ラクロスの価値を高めています。そのため、個々の選手の活動を増やすことにも制限があり、各代表の活動ボリュームを端的に増やすことは難しく、日本代表の価値を損なう可能性もあります。

以上を踏まえて、活動期間、練習・合宿の活動回数、海外遠征について、以下のガイドラインを設けています。

### 【日本代表活動ガイドライン】(2024年9月1日時点)

#### <各代表の基本的な目標>

以下を最低ラインの目安として、大会ごとに目標を設定する

- ・フル代表(世界選手権):3位
  - ↳SIXES代表:大会ごとに設定する(オリンピック出場権獲得)
- ・フル代表(大陸予選):予選通過
- ・U20代表:準々決勝進出

#### <活動期間>

- ・フル代表(世界選手権):世界大会開催年の前年1月～世界大会終了まで
  - ↳WGも含めSIXES代表はフル代表の活動の一環として行う
- ・フル代表(大陸予選):大陸予選開催年の1月から大陸予選終了まで
- ・U20代表:U20世界大会開催年の1月～U20世界大会終了まで

#### <主な活動時期>

- ・原則1月～7月とし、各大会日程を踏まえて調整する。

#### <活動日(共通)>

練習会は週末2日間(祝日は含まず)で実施。1回あたり最大4時間。

※練習時間には、全体でのトレーニングやアップ時間も含まれる。フィールド外の会議室やオンラインを用いたミーティングは含まれない。

※合宿(最大2泊3日)は年1回までとし、練習会としてカウントする。

#### <活動頻度>

- ・フル代表(世界選手権):2週末/月
- ※SIXES代表活動時はSIXES向け練習として+1時間/回の追加を認める。
- ・フル代表(大陸予選):1週末/月
  - ・U20代表:1週末/月

#### <選手選考の基本方針>

- ・各代表の選考基準は、各HCの方針に従う。
- ・選考対象は全会員となるためオープントライアウトを実施する
- ・トライアウト後の怪我による一時離脱を除き、辞退による追加招集、追加選考は随時NPCに相談の上、実施できる

#### ※海外在住選手についての特記事項:

- ・過去の代表経験者:ビデオ選考とオンライン面談にて本大会直前からの合流を認める
- ・招聘経験の無い選手:ビデオ選考とオンライン面談を経て練習会に招聘し、最終選考前に2回の練習会参加を必須とし、最終判断はNPCに相談の上、決定する

#### ※補足:

- ・フル代表(世界選手権):前回大会代表と大陸予選代表に加えU20代表からの招集をHCが求める者はトライアウトを免除できる。大会前年の活動後の年末に、その時点の代表選手以外の選手にて追加招集トライアウトを行う。この際にそれまでの落選者も選考対象とする。
- ・フル代表(大陸予選):原則、世界選手権出場経験の無い選手を対象とする。U20代表からの招集はU20世界大会終了後からとする
- ・U20代表:World Larosse(WL)が定める対象期間の選手を対象とする

#### <チームスタッフについて>

現時点におけるWLの定めでは、チームは最低限ヘッドコーチ(以下HC)、チームマネージャー、メディカルスタッフの3名が義務付けられ、そこに最大5名のチームスタッフを加えた最大8名が遠征スタッフとなる。

日本代表において、HCはフィールド内のチーム強化に専念するものとし、フィールド外の運営(広報含む)の統括責任者としてゼネラルマネージャー(以下GM)を各代表に設置する。HCとGMは上下関係ではなく、役割と責任を分担し、連携してチームを強化する。

メディカルスタッフについては、メディカルドクター(臨床医師)である必要はなく、専門職能のあるトレーナー(以下TR)を最低1名、最大2名まで規定に従い採用する。

広報については、遠征の際は、メディア扱いとなるため遠征スタッフの人数には含まない。

国内活動においては、必要に応じて追加のサポートコーチ/スタッフを設置できるが、遠征帯同することはできない。

#### ※追加スタッフに関する補足説明:

各代表において、国内活動メインでサポートスタッフを持つ場合は、公募にて必要な人材を確保する。なお、サポートスタッフは正規スタッフとして扱われないため、国内活動においても交通費等の支給対象外となる。人数の制限はないが、本大会に帯同できないため、本番を意識し、遠征スタッフのみで原則対応できる体制を整えることに注力し、その上で練習会の効率を最大化するための人数設定とする。また、練習会参加の都度、業務内容を説明するのは非効率であるため、原則としてチームの全活動期間に参加できる人を採用すること。

<スタッフ選考の基本方針>

・GM:1名(必須)

⇒ HCがフィールド外の運営全般を任せられる人材を確保している場合は、HCの推薦により採用し、理事会に報告。(人材の目処がない場合はNPCに相談。)

・TR:1~2名(1名必須)

⇒ 基本的にはHCもしくはGMにて採用。

・AC:最大3名

⇒ HCが自身の戦略に合わせて採用。

⇒ WLのルールによりコーチボックスに入れる人数が4名のため、原則3名まで。

⇒ 3名を超えて追加したい場合は、他の遠征スタッフの人数を減らすか、国内活動限定のサポートスタッフとすることを検討。

・MG:1名(必須)

⇒ GMの役割は多岐に渡り、現場不在となる必要があるため必要。

・広報:1名(必須)

⇒ 広報部、マーケティング委員会と相談の上、公募。

・その他スタッフ

⇒ アナライジングスタッフ等の採用は、上述の範囲でHCとNPCで都度協議。

以 上